



卓 越 し た 技 能 者

氏 名 (年齢)	職 名	団体名・現住所	功 績 の 概 要
<p>青木 俊憲 (62 歳)</p> 	<p>造園工</p>	<p>株式会社青木造園土木 苫小牧市</p>	<p>昭和58年より造園業に従事し、造園技術の研鑽とデザインの習得に努め、1級造園技能士等の資格を取得した。日本古来の伝統的な造園技術と現代的な技術も取り入れ、苫小牧市内の公園における滝の造形や植栽、桜並木の造成などの景観づくりのほか、道内各地の桜の治療にも取り組んでいる。現在は(株)青木造園土木の代表取締役として、また、(社)苫小牧地域職業訓練センター等の講師や、技能検定委員としても若手技術者の技能向上、地域の造園業の発展に大きく寄与している。</p>
<p>荒 富夫 (75 歳)</p>	<p>左官</p>	<p>有限会社古瀬左官工業所 中標津町</p>	<p>昭和37年より60年以上の長きにわたり左官工としてたゆまぬ努力を重ね、職業訓練指導員、1級左官技能士の資格を取得した。長年の経験と実績に基づく技術は、擬木製作や、近年の個性豊かなデザイン建築への対応など幅広く、保育園の遊具保全など公共施設の環境整備や地域の技能士制度の普及にも貢献している。75歳となった現在も現場に立ち、技能を惜しみなく若手技能士に伝授し、左官業界はもとより建設業界からの信頼も厚く、管内業界の発展に活躍している。</p>
<p>石垣 新 (50 歳)</p> 	<p>調理人 (日本料理)</p>	<p>日本料理 忘梅亭 札幌市</p>	<p>日本料理業界に入職後、日本料理一筋に調理技術の向上に努めたことが評価され、平成15年には第7回日本料理技能コンクールで最優秀賞を受賞し、北海道のあらゆる食材を活かす技術と表現力は、高く評価されている。平成26年より日本料理 忘梅亭にて料理長を務め、令和4年には北海道職業能力開発協会より技能振興功労者表彰を受賞している。その技術と伝統を各調理専門学校生徒に伝承し、北海道日本調理技能士会の役員としても業界の発展に寄与している。</p>
<p>稲船 達也 (61 歳)</p> 	<p>調理人 (西洋料理)</p>	<p>大槻食材株式会社 函館市</p>	<p>ホテル函館ロイヤルに入職して以来、西洋料理調理師として研鑽を積み、その後も市内の各ホテル等にて修行を重ねた。平成11年に西洋料理専門調理師の資格を取得し、地場の新鮮な食材の特徴を捉えた繊細な調理技能は高く評価され、北海道社会貢献賞を受賞した。現在は、大槻食材(株)の社員食堂にて腕を振るう傍ら、フードコーディネーターとして同社で扱う食材を飲食店の調理人にアドバイスを行うほか、市内の調理専門学校で学生の指導にあたり、調理師養成など業界の発展に貢献している。</p>

氏名(年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
大澤 健一 (75歳) 	大工	株式会社大沢建設 札幌市	<p>早くから職業訓練指導員、1級建築大工技能士などの資格を取得後、(株)大沢建設の代表取締役役に就任した。断熱メーカーと北海道の気候に適した外断熱工法の開発に携わったほか、日本古来の神社建築にもその技能を発揮し、琴似神社の維持管理、補修を行っている。平成11年にはこれまでの功績が認められ(社)日本建築大工技能士会より功労者顕賞が贈られた。20年以上技能検定委員として後進の育成にも尽力し、75歳となった現在も棟梁として施工作业や現場管理、若手大工への伝統技能の伝授を行っている。</p>
加藤 誠二 (50歳) 	大工	株式会社加藤木建 旭川市	<p>平成4年に旭川高等技術専門学院建築科を修了した翌年度、技能五輪北海道大会予選1位の成績を修めるなど若い頃から高い技能を有し、建築大工として30年以上伝統的な日本建築の技能の習得、規矩術の研究に努めている。平成26年には国土交通大臣顕彰(優秀施工者)に認められるなど数多くの受賞歴を有し、施主や業界からの評価も高い熟練した職人である。さらに旭川建築高等職業訓練校では長年指導員を務め、今年度からは校長として若年技能者の育成、伝統技能の継承に寄与している。</p>
北 幸治 (61歳) 	板金工	有限会社北板金工業 小樽市	<p>建築板金業界への入職以来、1級建築板金技能士等、数多くの資格を取得、40年以上にわたり常に生産工程の改善やコスト削減など研鑽に励んでおり、令和5年には(一社)北海道技能士会の優良技能士、続いて全日本板金工業組合連合会より功労賞を受賞した。また、現在は(有)北板金工業の代表取締役のほか北海道板金工業組合等の役員としても活躍し、さらに平成26年からは登録建築板金基幹技能者トレーナーとして数多くの基幹技能者を輩出するなど、若手育成にも大きく貢献している。</p>
工藤 秀樹 (73歳) 	大工	株式会社工藤建設 別海町	<p>現場作業一筋の建築大工で、23歳の若さで工藤建設の代表に就任した後、1級建築大工技能士の資格を取得した。数多くのノウハウで依頼主の目線に合わせた提案・施工を行い、沿岸地域特有の気候条件など風土に適した住宅建築は、居住環境の快適さを向上させた。平成16年には全国技能士会連合会長表彰を受け、創業50年となった今も代表取締役を務めている。中標津高等職業訓練校の指導員を務めたほか、異業種の若手技能士にも熱心に指導するなど、管内の産業の発展に貢献している。</p>

氏名(年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
黒田 隆一 (60 歳) 	塗装工	株式会社タダノ 旭川市	<p>(株)タダノに入社以来、40年以上にわたり塗装工として経験と知識を積み、1級塗装技能士など数多くの資格を取得し、平成21年より同社代表取締役役に就任した。路面標示施工、吹付塗装施工においては、卓越した機械操作と繊細な作業、バランス感覚に優れた正確な技能を持ち、業界から高く評価されている。独自の工具を導入するなど創意工夫を重ね、作業の改善や生産性を向上させた。技能検定委員として後進の指導育成に熱心に取り組むほか、各団体の役員としても業界の発展に尽力している。</p>
寺町 秀和 (57 歳) 	鉄筋工	寺町鉄筋工業株式会社 札幌市	<p>昭和59年に寺町鉄筋工業(株)に入社後、鉄筋工として技能の研鑽に励み、1級鉄筋施工技能士のほか数々の資格を取得し、安全管理の徹底や新たな機器の導入による生産効率の向上・省力化を図った。平成28年に同社代表取締役就任後、ものづくりマイスターや全技連マイスターとして職業体験実習等に取組み、全国技能士会連合会会長表彰を受賞するなど、全国的にも高く評価されている。平成24年からは技能検定委員に就任し、令和3年より(一社)北海道技能士会理事として若年者の技術向上に貢献している。</p>
永井 功二 (57 歳) 	調理人 (中国料理)	中国菜楼 東巴 小樽市	<p>道内のホテルに入社し、中国料理独自の乾物や魚介類の調理において高い技術を身につけ、中国料理専門調理師の資格を得た後、数々のコンクールにて大臣賞等を受賞し、平成12年には「第3回中国烹飪世界大会 熱菜 水産類部門」銅賞を受賞するなど、海外でも高く評価され、平成24年には日本中国料理協会より功績賞を受賞した。現在は、中国菜楼 東巴を経営し、調理専門学校の実習生を自店に受入れ後進育成にも取り組むほか、雑誌掲載やテレビ番組への出演も多く、人気店となっている。</p>
中川 健 (51 歳)	防水工	北開技研工業株式会社 札幌市	<p>平成2年に北開技研工業(株)に入社以降、防水工としてアスファルト系防水施工の技術向上に努め、1級防水施工技能士の資格を複数取得したほか「アスファルト防水耐火システム法」の研究リーダーとして、特許取得に寄与した。屋上の面積が広大な鉄骨構造物の荷重軽量化や工期短縮を実現し、新千歳空港国際線ターミナルビルやエスコンフィールド等の大規模施設において同工法が広く採用されている。現在は同社代表取締役の傍ら団体役員も務め、防水技術の普及向上や後進の指導育成に尽力している。</p>

氏名(年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
<p>蓑島 住雄 (68歳)</p> 	<p>塗装工</p>	<p>有限会社みのしま塗装 幕別町</p>	<p>帯広高等職業訓練校にて塗装技能の習得に励み、25歳でみのしま塗装を創業後、1級建築塗装技能士、登録建設塗装基幹技能者等の資格を取得し、さらにはものづくりマイスターに認定されるなど、意匠性が高く常に創意工夫を凝らした施工は高い評価を得ている。技能検定委員を務め、平成27年には北海道職業能力開発協会会長表彰(技能検定功労)を受賞したほか、帯広塗装工業協同組合の副理事長等の要職、さらには帯広地方高等職業訓練校の指導員として後進育成に努め、地域の技能向上に多大な貢献をしている。</p>
<p>矢吹 尚也 (59歳)</p> 	<p>写真工</p>	<p>有限会社矢吹写真館 稚内市</p>	<p>昭和61年に大阪芸術大学写真学科を卒業し、写真家 一色一生氏の助手を務めた後、実家の矢吹写真館に入社した。人生の節目の記念写真を中心に、高い表現力、技術力を活かした撮影が評価され、国内のみならず海外のコンテストでも多くの受賞歴があるほか、世界大会の肖像写真部門日本代表として4度選出されるなど、全国トップクラスの肖像写真家である。現在も、デザイナーとのコラボレーション展の開催など、多岐にわたる撮影に取り組むほか、全国の大学生やプロカメラマンにも技術指導を行っている。</p>